


6部

10月新入生の方へ



1 10月新入生の方へ

通信教育での学習は、①レポートを作成する、②スクーリングを受講する、③科目修了試験を受験する、の3つが基本です。『学習の手引き』p. 10～26に、学習の流れや単位修得方法等について記載がありますので、必ずご一読ください。

不明点があれば、ご遠慮なくお問い合わせください（『学習の手引き』p. 25～26参照）。

印刷物を読んでも通信教育部での自学自習の進め方に不安のある方は、通信教育部ホームページ 上部のタブ「学習ガイダンス」欄からガイダンス動画を視聴することができますので、ご利用ください。会場でのガイダンスは本学（仙台駅東口キャンパス）にて9/30(土)10:00～12:00 および11/3(金)13:30～15:30に開催いたします。

2 新入生の方に受講推奨スクーリング

スクーリングは履修登録をしている科目ならば、どの科目から受講していただいても結構です。下記の科目はこれから申込みが可能な2/3・4までの開講のスクーリングで、最初に受講するスクーリングとしてお勧めです。是非都合をつけて参加してみてください。

(学習の仕方に戸惑っている方)

科目名	スクーリング開講日	会場	申込案内
基礎演習	12/9・10	仙台	『With』127号 (次号)

(社会福祉学科の方)

科目名	開講日	会場	申込案内
福祉法学	10/28・29	東京	本冊子4部
児童・家庭福祉論	11/3～5	仙台	
社会福祉原論(職業指導を含む)	11/3～5	東京	
社会福祉援助技術総論 VTR	11/11・12・23	仙台	
人権と福祉	11/18・19	仙台	
福祉心理学 VTR	11/25・26	札幌	『With』127号 (次号)
介護概論	12/16・17	仙台	
精神保健学	12/16・17	仙台	
社会福祉学入門	12/23・24	仙台	
心理学概論	1/6～8	仙台	
地域福祉論	1/6～8	仙台	
児童・家庭福祉論	1/6～8	札幌	
児童・家庭福祉論	1/6～8	東京	
社会福祉原論(職業指導を含む) VTR	1/6～8	盛岡	
リハビリテーション論	1/20・21	仙台	
更生保護制度論	1/27・28	仙台	
スポーツの心理学	1/27・28	仙台	
発達障害者の理解と支援	1/27・28	仙台	
福祉心理学 VTR	2/3・4	仙台	

(福祉心理学科の方)

科目名	開講日	会場	申込案内
カウンセリングⅡ	10/28・29	仙台	本冊子4部
児童・家庭福祉論	11/3～5	仙台	
生涯発達心理学	11/3～5	仙台	

心理学実験Ⅰ	11/3～5	札幌	本冊子4部
産業心理学	11/11・12	仙台	
教育心理学	11/25・26	仙台	
福祉心理学 VTR	11/25・26	札幌	
心理アセスメント VTR	11/25・26	新潟	
家族心理学	12/9・10	仙台	『With』127号 (次号)
心理アセスメント	12/23・24	仙台	
心理学概論	1/6～8	仙台	
児童・家庭福祉論	1/6～8	札幌	
児童・家庭福祉論	1/6～8	東京	
スポーツの心理学	1/27・28	仙台	
カウンセリングⅠ	1/27・28	東京	
福祉心理学 VTR	2/3・4	仙台	

※Web上で受講が可能なオンデマンド・スクーリングの開講予定

→『試験・スクーリング情報ブック2017』p. 56～57をご覧ください。

上記にない科目、とくに「保健医療サービス論」、「社会調査の基礎」、「公的扶助論」、「社会保障論」、「福祉行財政と福祉計画」は福祉についての基礎知識を身に付けた上で受講することを推奨いたします。

ただし、ご自身の学習計画がある場合は、そちらに従ってください。

スクーリングは「コミュニケーション英語」や演習科目などを除いて事前のレポート提出は必要ありません。スクーリングの申込期限や実施科目は『試験・スクーリング情報ブック2017』p. 4～5や本冊子4部に記載されています。

3 3年次編入学で社会福祉士取得希望者へ

3年次編入学で2年間で卒業・社会福祉士国家試験受験資格取得を希望する方は、「社会福祉援助技術演習A」のスクーリングを11/30、または来年5/31までに申し込んでください（受講条件あり；『レポート課題集A 2017』 p.134参照）。

4 スクーリング受講者専用レポート（別レポート）について

一部科目のスクーリング受講者は、『レポート課題集』記載のレポート（以下「通常レポート」）に替えて、「別レポート」（多くが○×や穴埋めなど客観式課題）を提出することができます（『学習の手引き』 p.18～19参照）。

※「別レポート」、「通常レポート」、どちらに取り組むかはご自身で選択してください。

※「別レポート」対象外の課題は「通常レポート」での提出が必要です。

※「別レポート」をうまく利用することも学習を円滑に進めるコツです。

実施科目＝『学習の手引き』 p.19参照。

解答形式＝Web版（「TFUオンデマンド」上で解答。解答期限：終了後約2週間）、郵送版（スクーリング会場で配付される専用用紙を提出台紙に貼り付けて提出。提出期間：受講後1カ月）。

※Web版での解答を推奨しています（受付登録と評価登録は、解答締切後5日以内に行います）。

スクーリング・アンケートより(3)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●障害者福祉論 横山 英史

- ・ 障碍を通じて感じた先生自身の意見や他機関からのゲストスピーカーの先生のお話がとても興味深かった。板書だけでなく映像も授業に取り入れられていて、文面だけでは想像することができない、障碍がある方の実情を知ることができた。実際の補装具や障害者手帳なども拝見できたので、とても良い経験になった。
- ・ 日頃、障碍を持った方と仕事で接することが多く、特に優生思想について踏み込んだスクーリングでより考えるチャンスをいただきました。世の中の動きが殺伐としている中、いかに弱い方の立場に立てるか、自分の中にあるものをいつも見つめていきたいと思う。先生の当事者としての視点からきれいごとではない話が聞けてよかった。
- ・ 今回は当事者でもある横山先生・伊藤先生の講義は、まさに「生きた講義」という感じが受け取れました。障がい者といわれる人たちと関わっている私にとって、とても勉強になりました。
- ・ 自立生活に向けてのところで、障害者(児)を親が愛情の下で束縛をしているというところが納得して聴くことができました。障害全般にかかる法律や現状等を学ぶ機会として、網羅されていて良かったです。障害福祉の仕事にしているため、仕事の振り返りと確認をすることができました。

●精神保健福祉援助技術総論Ⅱ 志村 祐子

- ・ 知識が乏しい中で、周りの意見や先生からの問いかけに、自分の課題を痛感したと同時に、素晴らしい意見に非常に感心しました。分からないことが何か知るきっかけになり、気づけたことはとても勉強になった。
- ・ 記録の方法やSST、ケアマネジメントについて、ビデオや事例を聞くことで、より詳しく学ぶことができました。成長期に合わせたメンタルヘルスの講義では、産後うつについての重要性に気付かされ、母親のみならず精神疾患を持つ親に育てられた子どもへの配慮や、家族との繋がりについても深く学ぶことができました。疾患のみならず、人には言えない心の悩みや苦悩をくみ取っていくスキルがこれからの精神保健福祉には必要であると、強く感じました。

●精神保健福祉のサービス(精神保健福祉論Ⅱ) 阿部 正孝

- ・ 精神保健福祉の視点から見る高齢者、幼児、思春期問題、更には学校教育のゆがみに関しての話が参考になりました。